

入を目指している。現在の看護マスタ（観察項目、看護指示）から移行するにあたり、看護職員が戸惑わないように、現在行っているマッチング作業をさらに継続していく必要がある。

## 2.看護計画から実施記録への連動性の構築

看護計画から実施記録への連動性は、現在も一部行われているが、看護用語が一致していないためにその確実性に不備がある。看護用語の統一を図ることは第一優先課題であるが、看護の質保証のためにも、行われたケアが確実に記録として残るために看護計画から実施記録の連動性をより高める

システムを構築していく。

## 3.看護職員に対する看護記録教育

1) MEDIS 看護実践用語マスタ(看護観察編・看護行為編)を導入後にどのように看護職員に浸透させていくかの教育計画を立案する。

2) 看護用語に限らず、経過記録に対する看護職員の教育の必要性を感じている。そのための第一ステップとしてスタッフの看護記録能力の査定を行い、そのニーズに合った形での経年次別、能力別の看護記録教育プログラムを構築していく。

# 看護記録整備に 向けての取り組み

平成19年9月22日  
さいたま市立病院  
記録プロジェクト委員会

## 当院の概要

病床数:567床(一般病棟537床・結核病棟  
20床感染症病棟10床)

標榜診療科:17診療科

看護職員数:定数425名

看護職員の平均勤務年数:8.6年

看護職員の平均年齢:33.4歳

## システム導入の経緯と看護記録

平成11年:オーダーリングシステム  
看護支援システム導入  
(導入機種:NEC)

- ・経過表のPC入力
- その他の看護記録は手書き

## システム導入の経緯と看護記録

平成18年3月:オーダーリングシステムの入れ換え

次の項目がPC入力となった可能となった

### 1.看護計画

#### ①看護診断の導入

- ・看護プロフィール
- ・看護診断による看護問題
- ・NOC/NICによる看護目標・看護計画立案

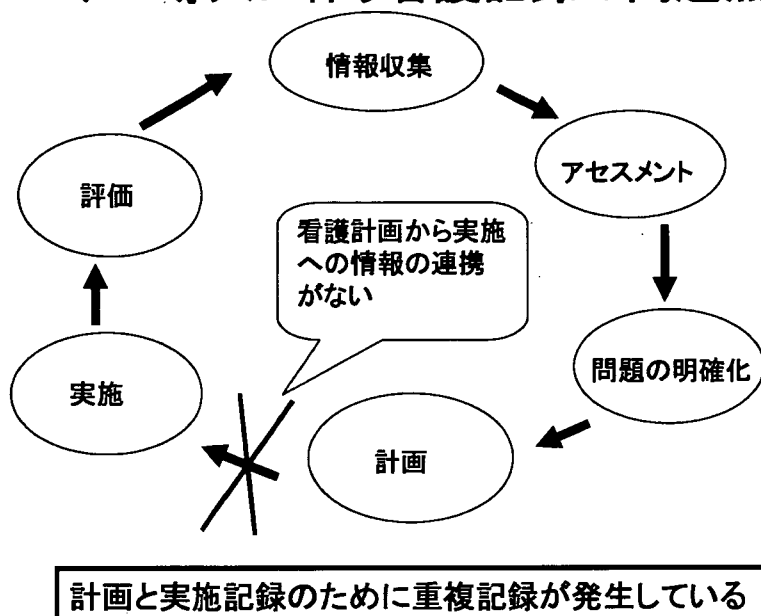
#### ②標準看護計画 141項目

#### ③クリニカルパス 104項目

### 2.経過表

- ・経過表の観察項目が無制限に入れられるようになった
- ・看護ケアの一部を看護指示マスターで経過表に記載

## システム導入に伴う看護記録の問題点①



## システム導入に伴う看護記録の問題点②

### 看護診断の導入

- ・看護プロフィールと患者プロフィールが存在し、記録の重複、非効率性が存在する。
- ・看護診断を理解が不十分のまま導入  
→看護診断の妥当性が不明確
- ・NOC/NICの理解が不十分のまま導入  
→看護目標、看護計画の具体性が見えづらい
- ・看護診断・NOC・NICの立案に時間がかかる  
→看護業務の煩雑化、超過勤務の増加
- ・看護計画からケア実施への看護記録が見えない  
→看護計画とケア実施との連動性ができていない

テストイテ | ID:1234567895 | テスト イテロウ | テスト イテ

身長 189.0cm 体重 70.0kg

【キーワード検索】

【診断ラベル】  
 診断ラベル表示  診断ラベルのみ表示  結果結果を表示

看護診断  
 ヘルスプロモーション  
 栄養  
 排泄  
 活動/休息  
 知覚/認知  
 自己知覚  
 役割関係  
 セクシュアリティ  
 コーピング/ストレス耐性  
 生活環境  
 安全/防衛  
 感染  
 身体構傷  
 気道浄化  
 口腔粘膜  
 嚥食  
 乳児突然死亡候群  
 困生  
 末梢性神経血管性機能  
 身体外傷  
 身体疼痛  
 組織統合性  
 窒息  
 抵抗力  
 皮膚統合性  
 薬力  
 危険環境  
 防衛機能  
 体温調節  
 安楽  
 成長/発達

看護診断ラベルを選択すると右のように定義・診断指標・関連因子が表示される

【定義】  
 新鮮な気道を維持するために、分泌物または閉塞物を気道から取り除くことが不可能な状態

【決定検索】

【診断指標】  
 呼吸困難  
 呼吸者の減弱  
 起座呼吸  
 呼吸器雑音 (ラ音、チア/チ音、水泡音、喘鳴)  
 咳嗽 (非効果的または効果的)  
 呼吸  
 チアノーゼ  
 発声困難  
 大きく見開かれた目  
 呼吸数リズムの喪失  
 落ち着きがない (ソワソワ)

【関連因子】  
 (関連因子)  
 (環境因子)  
 喫煙  
 煙の吸入  
 間接喫煙  
 (気道閉塞因子)  
 気道閉塞  
 分泌物の貯留  
 過剰な粘液  
 人工気道の存在  
 気道内異物  
 気管支内の分泌物  
 肺胞内の滲出液  
 (生理的因子)

印刷画面

前頁 次頁 印刷 閉じる

作成日: 2007/07/17  
 更新日: 2007/09/20  
 1234567895 テスト イテ0

患者 説明書

作成者: 富士通管理者  
 更新者: 富士通管理者

看護計画票

順	区分	計画内容	評価	評価日	評価(段階)	次回評価(段階)	次回評価日	評価者名	
002	看護診断	栄養状態悪化状態	執行	07/01/31				富士通管理者	
	診断指標	栄養状態を改善したいという意志の表明							
		規則正しく食事をする							
		適切な食物と飲み物を選択する							
		健康によい食物と飲み物の選択に関する知識の表明							
成果	エネルギー保存		07/01/31	3: 中程度			富士通管理者		
介入	休息			07/01/31	4: 軽度に関与			富士通管理者	
	年齢薬と薬		執行	07/01/31				富士通管理者	
	与薬: 経口外		執行	07/01/31				富士通管理者	
003	看護診断	孤独感リスク状態							
	成果	孤独感							
	指標	絶望の表現							
		所屬の欠乏の表現							
危険因子	愛情不足								
		社会的孤立							
004	看護診断	性的機能障害							

看護診断・看護成果  
看護介入の印刷画面

さいたま市立病院

**NICの入力画面**

<p><b>【診断ラベル】</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 10%;">区分</th> <th style="width: 50%;">名称</th> <th style="width: 10%;">OM</th> </tr> <tr> <td>12</td> <td>栄養促進準備状態</td> <td></td> </tr> </table> <p><b>【詳細表示】</b></p> <p>NIC詳細</p> <p>食物、薬物、昆虫による咬刺、造影剤、血液、その他の物質に対するアレルギー反応を固定、対処、および予防すること</p> <p>領域 4. 安全</p> <p>類 V リスク管理</p> <p>行動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> すでにわかっているアレルギーとその際に起こる反応を明らかにする（例：薬物、食物、昆虫、環境）。</li> <li><input type="checkbox"/> すでにわかっているアレルギーを、介護者やヘルプケア提供者に知らせる。</li> <li><input type="checkbox"/> プロトコルに従って、臨床記録にすべてのアレルギーを記録する。</li> <li><input type="checkbox"/> 適切な場合、アレルギーがあることを知らせるプレスレットを患者に付ける。</li> <li><input type="checkbox"/> 新しい薬物、乳児用調合乳、食品、試薬に対するアレルギー反応について、患者をモニターする。</li> <li><input type="checkbox"/> アレルギー反応を経験することがわかっている作用物質に患者が曝露されたかどうか、全身の紅腫、血管性浮腫、蕁麻疹、発作性咳嗽、強度の不安、呼吸困難、嘔吐、起座呼吸、嘔吐、チアノーゼ、ショックなどの徴候についてモニターする。</li> <li><input type="checkbox"/> アレルギー反応を誘発することがあるとわかっている作用物質を投与したあと、30分間患者を監視し続ける。</li> <li><input type="checkbox"/> 薬物アレルギーのある患者の場合、新しく処方された薬のアレルギー反応の可能性について質問するように指導する。</li> <li><input type="checkbox"/> 適切な場合、医療用注意ガードを身につけるように患者を指導する。</li> <li><input type="checkbox"/> アレルギー反応が重く患者の健康状態に対する脅威のレベルを直ちに明らかにする。</li> <li><input type="checkbox"/> アナフィラキシーの再発について、24時間はモニターする。</li> <li><input type="checkbox"/> アナフィラキシーショックや重篤な反応の間、生命を救う方法を提供する。</li> <li><input type="checkbox"/> アレルギー反応を減弱させる、または最小に抑える薬物を提供する。</li> <li><input type="checkbox"/> 適切な場合、アレルギーテストを奨励する。</li> <li><input type="checkbox"/> 必要な場合、アレルギーに対する薬物を注射する。</li> <li><input type="checkbox"/> 免疫治療を行っている間、アレルギー反応に注意する。</li> </ul>	区分	名称	OM	12	栄養促進準備状態		<p>NIC</p> <p>【キーワード検索】</p> <p>【選択領域】</p> <p>マスターNIC <input type="checkbox"/> NICフリー表示 <input type="checkbox"/> 選択済みNICを表示 <input type="checkbox"/> 検索結果を表示 <input type="button" value="ワーク追加"/></p> <p>マスターNIC <input type="button" value="リンクージ"/> <input type="button" value="並列表示"/></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> V リスク管理 <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 虐待防護支援</li> <li><input type="checkbox"/> 虐待防護支援：幼児</li> <li><input type="checkbox"/> 虐待防護支援：ドメスティックパートナー（家庭内パートナー）</li> <li><input type="checkbox"/> 虐待防護支援：老人</li> <li><input type="checkbox"/> 虐待防護支援：性的</li> </ul> </li> <li><input type="checkbox"/> アナフィラキシー管理 <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 運動区域制限</li> <li><input type="checkbox"/> 誤嚥対策</li> <li><input type="checkbox"/> 乳房診察</li> <li><input type="checkbox"/> せん妄管理</li> <li><input type="checkbox"/> 変換管理</li> </ul> </li> </ul> <p>リンクージNIC</p>
区分	名称	OM					
12	栄養促進準備状態						

## システム導入に伴う看護記録の問題点③

経過表の観察項目が無制限に入れられるようになった

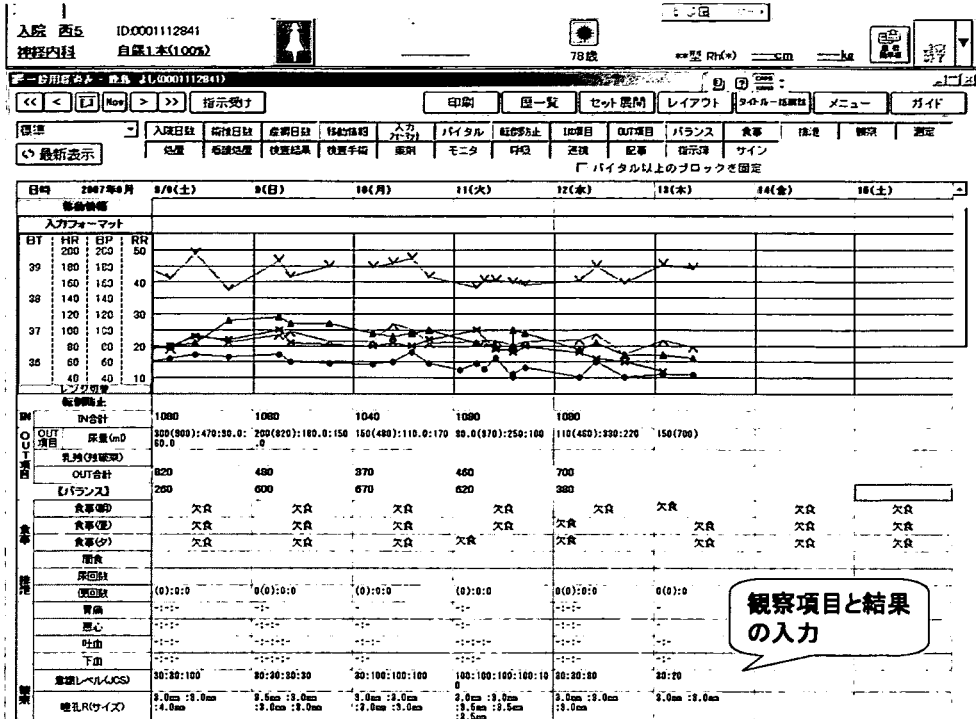


各病棟での観察項目の整合性を持たせず  
に希望項目をすべて入力

- ①マスター化の際に病棟間で統一性を図らなかったために類似するマスターの重複がある
  - ②マスターの結果入力の判断基準の統一性を図らなかった

↓

患者状態把握の不確かさ



観測項目追加時の選択の仕様

第一階層

- 呼吸器
- 循環器
- 消化器
- 泌尿器
- 内分泌
- 免疫
- 皮膚
- 小児
- 婦人科

第二階層

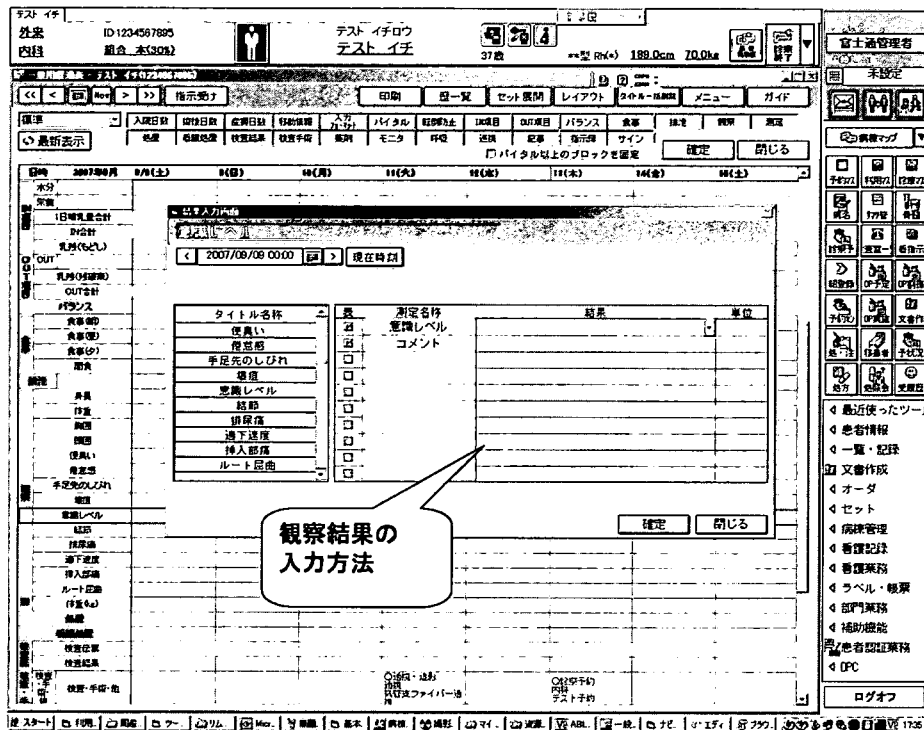
- 呼吸器
- 循環器
- 消化器
- 泌尿器
- 内分泌
- 免疫
- 皮膚
- 小児
- 婦人科

第三階層

- 呼吸器
- 循環器
- 消化器
- 泌尿器
- 内分泌
- 免疫
- 皮膚
- 小児
- 婦人科

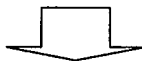
最新表示

観測項目追加時の選択の仕様



## システム導入に伴う看護記録の問題点④

看護指示マスターの項目が整理されていない



各病棟で利便性を優先した項目をすべて入力

看護指示マスターの項目の定義が明確でないため、各病棟でそれぞれの解釈によるケアが行われている可能性がある



ケアの質保証ができていない



患者 ID:1234567890 氏名: 田中 太郎 年齢: 78歳

【看護指示リスト】

- シャワー浴
- リハビリ
- アルコール清拭
- 沐浴
- 洗髪
- 歯磨き
- 足浴
- 手浴
- 口腔ケア
- 褥瘡ケア
- 食事
- 排泄
- 更衣
- アロエ入り

【看護指示入力画面】

2007年09月

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	31	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	1	2	3	4	5	6

日付: 2007年09月13日 17時30分

【看護指示入力画面】

患者 ID:000112841 氏名: 田中 太郎 年齢: 78歳

【経過表での看護指示の表示】

日付	8月(土)	8(日)	11(火)	14(金)	15(土)	16(日)
看護	入院	入院	入院	入院	入院	入院
食事	...	...	...	...	...	...
排泄	...	...	...	...	...	...
沐浴	...	...	...	...	...	...
洗髪	...	...	...	...	...	...
歯磨き	...	...	...	...	...	...
足浴	...	...	...	...	...	...
手浴	...	...	...	...	...	...
口腔ケア	...	...	...	...	...	...
褥瘡ケア	...	...	...	...	...	...
アロエ入り	...	...	...	...	...	...

## 記録の整備に関する取り組みの経緯

平成19年8月6日

第1回看護実践用語検討会

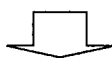
現在の看護用語(マスター)の問題点の明確化



- ・当院の観察項目と看護実践用語標準マスター(看護観察編)のマッチングの検討
- ・当院の看護指示マスターと看護実践用語標準マスター(看護行為編)とのマッチングの検討

## 看護診断の凍結

平成19年9月10日より看護診断の凍結を実施



- ・標準看護計画とクリニカルパスについては  
現行どおり
- ・上記以外の看護計画は、MPSによる看護問題  
から看護計画立案とする。  
(平成18年3月以前に戻す)

平成19年9月10日

第2回看護実践用語検討会

1.観察項目のマッチング結果報告

→観察項目の再比較の継続

・比較の視点

・結果の考察について

2.看護指示マスターのマッチング結果報告

→看護マスター項目の再比較の継続

・比較の視点

・結果の考察について

## 観察項目のマッチング結果報告

さいたま市立病院観察項目736項目

看護実践用語標準マスター(看護観察編)

1315項目

・完全一致158項目

・一部一致352項目

## 観察項目マッチングの視点

1.看護実践用語標準マスター(看護観察編)の観察項目の法則を知る

・8つの検索大分類の視点がある

・表現の統一基準

焦点(修飾語)

部位—位置—位相

類義語の中でも表現と内容が完全一致、過小一致、過大一致、部分一致かを見る



さいたま市立病院の観察項目を再度見直し、看護実践用語標準マスター(看護観察編)との類似語を抽出する



さいたま市立病院の観察項目の問題点、弱点が見えてくる。

## マッチング例

	当院の観察項目	看護実践用語標準マスター(看護観察編)
過大一致	レイノー現象 → ワーファリン副作用 ⇒	末梢冷感(四肢) 出血(部位)
過小一致	混合リズム →	EKGモニタ波形
部分一致	こわばり → 意識レベル ⇒	手指のこわばり 意識評価

## 看護指示マスタのマッチング結果報告

さいたま市立病院看護指示マスター161項目  
看護実践用語標準マスター(看護行為編)259項目  
階層のすべて一致 19項目  
階層が異なるが語句が一致 4項目



さいたま市立病院の看護ケアマスターには、観察項目や医療処置が入っている



さいたま市立病院の看護ケアマスターを整理し直す必要がある。さいたま市立病院のケアマスターの問題点、弱点が見えてくる。

## さいたま市立病院 看護指示マスターの整理の結果

既存の指示マスターから以下の項目を除外する

- ・観察項目(例 バイタルサイン、疼痛レベル) 16項目
- ・処置項目(例 点眼、ガーゼ交換) 34項目
- ・高度専門看護実践標準用語(助産・母性領域)  
(例 呼吸法指導、産婦補助動作) 18項目

除外後の指示マスター項目-93項目



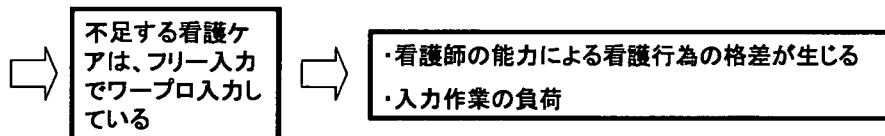
93項目を看護実践用語標準マスター(看護行為編)の分類に沿って整理

## 当院の看護指示マスターの問題点

看護実践用語標準マスター(看護行為編)の第一階層に当てはめると当院は日常生活ケアと指導・教育の二項目しかなかった



家族支援・組織間調整・機器などの装置に伴うケア・死者および遺族に対するケア・その他に該当する看護行為マスターは無かった



## 今後の課題

- ・観察項目の整理
- ・看護指示マスターの整理
- ・アセスメント項目の整備
- ・看護過程が円滑に進むための看護記録の整備
- ・スタッフへの看護記録に対する教育

# 看護記録整備に 向けての取り組み

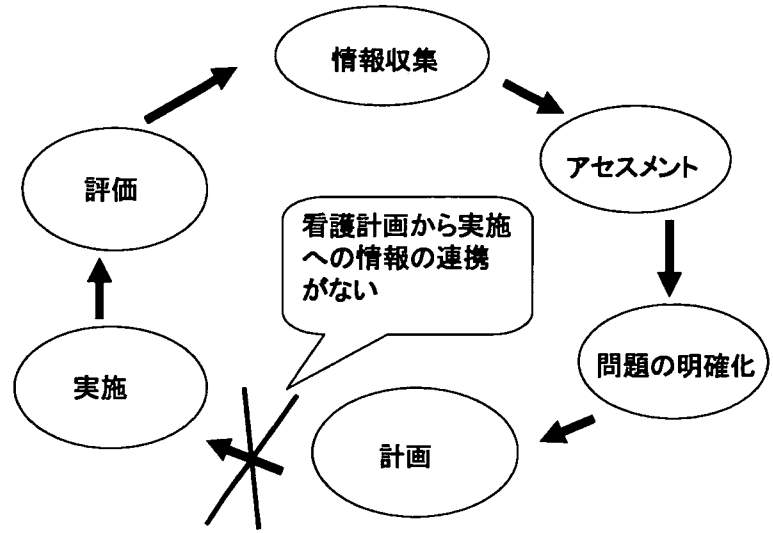
平成19年12月1日  
さいたま市立病院  
記録プロジェクト委員会

## システム導入に伴う看護記録の問題点①

### 看護診断の導入

- ・看護プロフィールと患者プロフィールが存在し、記録の重複、非効率性が存在する。
- ・看護診断を理解が不十分のまま導入  
→看護診断の妥当性が不明確
- ・NOC/NICの理解が不十分のまま導入  
→看護目標、看護計画の具体性が見えづらい
- ・看護診断・NOC・NICの立案に時間がかかる  
→看護業務の煩雑化、超過勤務の増加
- ・看護計画からケア実施への看護記録が見えない  
→看護計画とケア実施との連動性ができていない

計画と実施記録のために重複記録が発生している



## システム導入に伴う看護記録の問題点②

経過表の観察項目が無制限に入れられるようになった



各病棟での観察項目の整合性を持たせずに希望項目をすべて入力

- ①マスター化の際に病棟間で統一性を図らなかったために類似するマスターの重複がある
  - ②マスターの結果入力の判断基準の統一性を図らなかった
- ↓
- 患者状態把握の不確かさ



## システム導入に伴う看護記録の問題点③

看護指示マスターの項目が整理されていない



各病棟で利便性を優先した項目をすべて入力

看護指示マスターの項目の定義が明確でないため、各病棟でそれぞれの解釈によるケアが行われている可能性がある



ケアの質保証ができていない

## 問題解決に向けての取り組み

1. 看護診断の凍結
2. 当院の観察項目と看護実践用語標準マスター(看護観察編)のマッチングの検討
  - さいたま市立病院観察項目736項目
  - 看護実践用語標準マスター(看護観察編) 1315項目
  - ・完全一致158項目
  - ・一部一致112項目
3. 当院の看護指示マスターと看護実践用語標準マスター(看護行為編)とのマッチングの検討
  - さいたま市立病院看護指示マスター161項目
  - 看護実践用語標準マスター(看護行為編)259項目
  - 階層のすべて一致 19項目
  - 階層が異なるが語句が一致 4項目

# 課題

1. 観察項目・看護指示マスターの整理
2. 看護ケアが円滑に進むための看護記録の整備
3. 看護職員への看護記録教育

## 課題1 観察項目・看護指示マスターの整理

1. 看護記録用語(観察項目・看護行為)の統一がされていない。  
→看護記録の内容が共通理解しがたい。

看護観察用語の不統一に関して

- ①患者の状態やその変化を正確に把握できない。
- ②患者の状態やその変化を共有できない恐れがある。

看護行為用語の不統一に関して

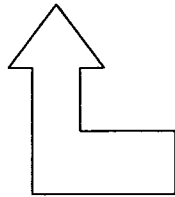
- ①行われた看護ケアの内容が共有できないことがある。
- ②看護の継続性にぶれが生じる。

看護の質保証  
ができない。

## 課題2

### 看護ケアが円滑に進むための看護記録の整備

看護計画から実施への情報の連携がない。



この連携がないために生じている問題点として、看護計画が日々実施されているかわかりづらい。

当院の日々のケアの結果に関する看護記録は、

①経過表(PC)

②看護二号用紙

看護二号用紙は、POSによるSOAP記録をしていたが、そのデメリットが顕著であったため、この連携を見えづらくしている。

問題志向型システム

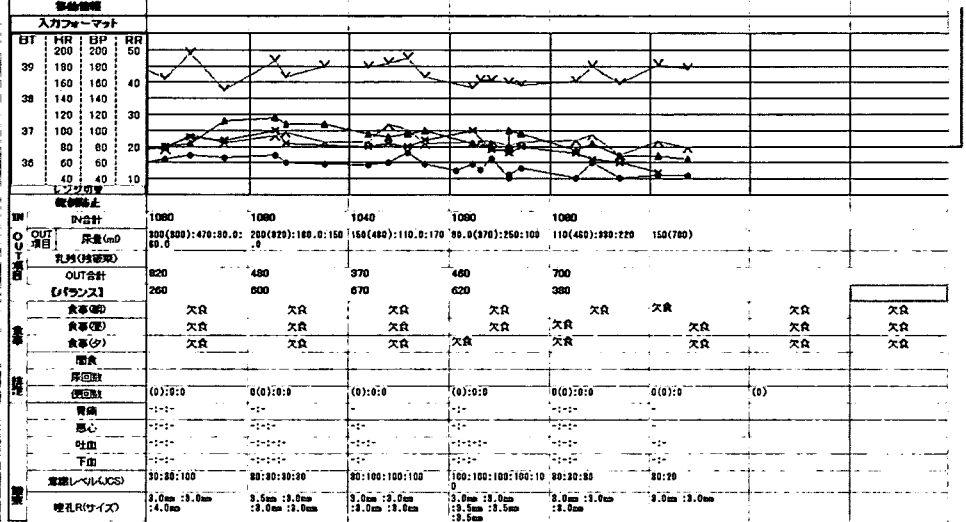
メリット

解決しなければならない看護問題が明確に書かれているので、誰が見てもわかりやすい。

デメリット

1. SOAPノートに実施した看護すべてが書かれていないため、計画が実行されたかどうか不明瞭になりやすい。

2. 記入者によってはSとOの分類が適切でなかったり、アセスメントの項目が記載されていないかったり、あるいはアセスメントの導き方が適切でなかったりする。



日付	2007年11月 11/22(木)	23(金)	24(土)	25(日)	26(月)	27(火)	28(水)	29(木)
記事	00:54 鼻が注入中、呼吸減速、心拍上昇みられる。		00:38 内服ミルック100ccに混入した母乳を、むせ込みながら、30分ほどで飲み、その後、息を吐きながら、鼻が注入中、呼吸減速、心拍上昇みられる。	08:01 除痰開始後、呼吸器が通気不良。SpO2 98%~100%を維持しているが、呼吸器が通気不良になり、呼吸器を交換した。その後、呼吸器が通気不良になり、呼吸器を交換した。その後、呼吸器が通気不良になり、呼吸器を交換した。	08:00 呼吸器と同調している。呼吸器が通気不良になり、呼吸器を交換した。その後、呼吸器が通気不良になり、呼吸器を交換した。	08:27 呼吸器が通気不良になり、呼吸器を交換した。その後、呼吸器が通気不良になり、呼吸器を交換した。	04:18 3時半頃より呼吸器が通気不良になり、呼吸器を交換した。その後、呼吸器が通気不良になり、呼吸器を交換した。	
記事			18:00 7時分のミルク哺乳。ミルクが通気不良になり、呼吸器を交換した。その後、呼吸器が通気不良になり、呼吸器を交換した。	20:32 呼吸器が通気不良になり、呼吸器を交換した。その後、呼吸器が通気不良になり、呼吸器を交換した。	17:00 レントゲン撮影。呼吸器が通気不良になり、呼吸器を交換した。その後、呼吸器が通気不良になり、呼吸器を交換した。	05:00 左大腿部の麻酔が通気不良になり、呼吸器を交換した。その後、呼吸器が通気不良になり、呼吸器を交換した。		
記事				18:00 大腸が通気不良になり、呼吸器を交換した。その後、呼吸器が通気不良になり、呼吸器を交換した。	18:25 呼吸器が通気不良になり、呼吸器を交換した。その後、呼吸器が通気不良になり、呼吸器を交換した。			
記事				18:00 呼吸器が通気不良になり、呼吸器を交換した。その後、呼吸器が通気不良になり、呼吸器を交換した。	18:30 呼吸器が通気不良になり、呼吸器を交換した。その後、呼吸器が通気不良になり、呼吸器を交換した。			